

特定非営利活動法人 at hiza no ue 設立趣旨書

1 趣 旨

国内外を問わず、子どもを取り巻く社会課題はいくつもあります。開発途上国においては、絶対的貧困から教育を受けられない子ども達や学校に通えたとしても教員の知識や教材不足で、子どもの権利条約や各国の法律に則った教育が行えていない実態があります。日本国内においては、子どもの相対的貧困やシングルマザーの窮状、教育格差、外国ルーツの子どもたちへの理解や教育支援不足など様々な点が挙げられます。

幼児教育の分野で国内外で様々な問題を抱える子どもたちと出会ってきたなかで、子ども達が笑顔で過ごしていくためには“愛情”と“学び”の2点が必要不可欠だと考え活動を行ってきました。まずは開発途上国に届けるための絵本を作成し、現地の教育保育に活かしていきました。2024年6月段階で10言語の翻訳を完成させ、23カ国の開発途上国に絵本を届けています。また、日本国内でも外国籍の子どもが在籍する園や学校、母国語で読み聞かせをしたいという保護者の方に絵本の寄贈や販売を行ってきました。また、国際理解や教育の一助になるよう大人から未就学児問わず、イベントや講演会を行っていきました。

今後は、これまでの活動を継続していきながら、海外について学べる教材制作を進めることや、教育保育や子育てに関する情報発信、シングルマザーの相対的貧困問題にも取り組んでいきたいと思っています。

そして、今回法人として申請するに至ったのは、今まで個人的な活動として実践してきた活動や事業を継続させ、より規模を広げていくために必要があると考えたからです。そのためには、社会に認められた公的な組織にして行くべきと考え、営利目的ではなく市民の方々に参画していただくことが不可欠であるという視点から特定非営利法人化していくことが必要だと考えました。

法人化することによって組織を発展、確立することができ、多くの子ども達、子どもと関わる人々にアプローチすることが可能になります。1人でも多くの人々と関わっていくことで子どもが笑顔で過ごせる社会に近付けると考えます。

2 申請に至るまでの経過

2019年9月	任意団体「いわとじゅん」発足
2022年10月	絵本完成
2022年11月	絵本寄贈のため、西アフリカへの渡航や海外で活動をする団体と交流
2024年2月	会員間で法人化の意思確認
2024年11月	設立総会開催

令和 6年 11月 25日

特定非営利活動法人 at hiza no ue
設立代表者 氏 名 仁科潤紀